

浦頭引揚援護局

引揚援護局(収容所)に着いた引揚者は、引揚手続き完了後、衣服や日用品などの援助物資の支給を受け、2・3泊されました。



主な展示資料

浦頭引揚記念資料館には、引揚時の衣服や水筒・鍋・箸などの日用品のほか、厚生省の「引揚婦女子の皆様へ」や引揚船内で生まれた子どもの命名書など貴重な資料を展示しています。



引揚船内で産まれた子どもに船長が命名した書面
心から平和を願い「和子」と命名されています

厚生省(当時)が出した引揚女性への案内



出生を祝う
命名 和子

昔から人文の進化は、人類の和合をもって世の中の秩序を維持して発達してきました。敗戦後は世の中の秩序が乱れようとし、人の心が動揺している常態の折に、平和の女神として〇〇五七号船上で生を受けられ、私たちに光明を与えてくださったことに、喜びの気持ちを抑えきれず小躍りしているところですよ。よって、女神のしるしである平和の一字をもちて命名し、永久に世の中の人々に和の明るい光を与えられることを期待しています。

昭和二十一年九月二十九日
〇〇五七号
船長 肇子 肇

▲現代語訳

引揚婦女子の皆様へ
このたび、懐かしき故国に無事にお帰りになる運びとなりましたことを、心からお喜び申し上げます。永年の間、国策の第一線に沿ってご活躍なされてきた皆様がこのたび何もかも投げ出して引き揚げねばならなかった事に対しましては、何ともご同情の申し上げ様もございません。かてて加えて終戦後起きた生活環境の激変のために、心身共に受けられたご苦労はさぞかし想像に余りあるものがあるでしょう。皆様の内にはそのために、精神的にも肉体的にも随分悩まれておられる方が多いことと思います。

私どもはこのことを考えるとき、国を挙げて真剣にお慰い申さねばなりません。そこでこのたび国立病院内に、婦女子のための病院を新しく設立し、病気によっては温泉療養施設をも整えて、一切国費で治療申し上げることになりました。

手続きは、上陸地に設けてあります婦女子相談所または同船内出張所にお出でになれば、親切に教えてくれます。引揚婦女子のお方は、一応一人残らず相談所までお越しください。そして病気その他、身体上のことについては遠慮なくお話になって適当な指導をお受けになるようおすすめ申します。相談所から病院までの輸送その他一切の面倒は当方において用意しておりますし、入院や治療は一切無料です。

内地は目下一般に施設や薬品がかなり不足しておりますために、治療が不十分となりがちです。安心して完全な治療なさるには、この国立の婦女子病院を利用されることがいろいろ点で一番都合かと思えます。病気ほどご自身にとっても、一家一国にとっても不幸なことはありません。今後の皆様の再起の資本でもあり、再建日本の原動力ともなるのは健康です。一人一人が皆健康で頑張らなければ、日本復興は不可能です。この際、精神的にも肉体的にも、完全な健康体になられてからご帰国なさることを切におすすめています。

厚生省 医療局 国立病院 国立療養所
全 引揚援護院 地方引揚援護局

昭和二十一年四月

▲現代語訳